



ほけんだより 7月号

令和2年7月1日発行
城東桐和会 瑞江わんぱく保育園

暑さが続く時期となりました。保育園の送り迎えても汗だくになるかと思えます。保護者の皆様も体調にお気をつけください。保育園でもこまめに水分補給を行い、熱中症対策に気をつけていきたいと思えます。



虫刺され対策について

- ・園内各所の安全な場所に「虫コナーズ」を設置しています。
- ・園児の登園前に「蚊がいなくなるスプレー」を使用しています。
- ・散歩時は、虫よけのアロマスプレー「アンチバグ」を頭(帽子)と背中に使用しています。
→アンチバグは、ハーブ成分で出来ており、ディートフリーです。
- ※虫よけパッチやシール・リングは、紛失・誤飲等の問題もあるため、保育園での使用は禁止しています。登園前に、お家で虫よけスプレーなど対応して頂けますようお願いいたします。
- ・あらかじめ、刺されやすい子は、薄い長袖やカーディガン、スパッツ等で物理的対策も有効です。登園時に準備をお願いします。
- ・蚊に刺された場合、痒み止め(非ステロイドのジフェンヒドラミン軟膏)を塗布しています。
- ・保育園での対策には限界があり、毎日の活動の中でやむをえず刺されてしまう事があります。何卒ご了承ください。



とびひについて

虫刺され等で掻きむしった傷口に細菌が付着し、皮膚がただれたり水ぶくれになったりします。感染力が非常に強く、他の部位にも広がりやすいです。強いかゆみを伴うことが多く、他の園児への感染防止の為にガーゼでしっかり覆ってから登園してください。ガーゼ・軟膏を持参して頂ければ、適宜処置を行います。自力で治すことは困難であるため、とびひとみられる症状を発見した際には早めに受診をしてください。



熱中症対策について

- ・公園やお散歩に行く時には、夢中になりすぎず時間を決めて遊ぶようにしましょう。
- ・水分補給をこまめにしましょう。塩分と糖分と一緒に摂ると水分の吸収率が上がるので、麦茶に砂糖や塩も混ぜて飲むのも予防になります。市販のスポーツドリンクもおすすめです。(麦茶1Lに砂糖大さじ4、塩小さじ1/2)
- ・帽子を被り、フラフラする前に日陰や屋内で休憩するようにしましょう。
- ・車内は高熱になりやすいので、お出かけの際はエアコンやサンシェードを使いましょう。
- ・乳児は自分で、熱中症の症状を訴えることができません。顔色がおかしい、反応が薄い、手足のけいれん、頭を痛がる、嘔吐などの症状が見られたらすぐに受診しましょう。



夏に多い感染症

▼手足口病

手の平、足の裏、口の中に水疱ができるのが特徴です。まれに発熱もします。食事はのど越しのよいものを食べましょう。



▼ヘルパンギーナ

突然の高熱と喉の痛み、喉の水疱が特徴です。症状が軽ければ、1~4日くらいで解熱します。

▼アデノウイルス(プール熱)

高熱が3~5日くらい続き、喉痛み、目の充血やかゆみなど結膜炎のような症状もでます。消化のよいものを食べましょう。



▼0歳児健診

7月8日(水) 15時~

※6月の内科健診(全園児対象)にてお休みをされたご家庭は、同日実施いたします。登園予定の方は、なるべくお休みをされませんようご協力宜しくお願い致します。

